

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		統計調査員確保対策助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060301000302
						単独/補助	補助		010201
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	企画課
総合計画の施策名		0603 時代に合った自治体運営						課長名	
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり						グループ	企画G
施策名		03 時代に合った自治体運営						担当者名	
手段名		01 ①計画的な行政運営							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	05	01	01	00	統計調査総務事業		
						単年度繰返し (平成17年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		茨城県調査員確保対策費事業委託要項							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>統計調査員の確保と知識向上を図るため、県の助成費を受け次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計調査員希望者の登録 統計調査員通信等の発行 統計調査員必携の交付 統計調査員中央研修への調査員派遣 <p>その他 各種統計調査遂行にあたっての準備 (説明会参加など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県の刊行物である「いばらき統計だより」などを、市登録統計調査員に対し発送することにより、統計調査員としての理解や基礎的知識を深めてもらう。 表彰対象となる優良な調査員、永年勤続調査員の推薦

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 県の刊行物である「いばらき統計だより」などを、市登録統計調査員に対し発送することにより、統計調査員としての理解や基礎的知識を深めてもらう。 表彰対象となる優良な調査員、永年勤続調査員の推薦 	刊行物等郵送件数	件	197.00	197.00	197.00	197.00	197.00
	表彰を受けた調査員	人	4.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	調査員の推薦を依頼した回数	回	2.00	2.00	3.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市登録統計調査員	市登録統計調査員数	人	197.00	197.00	197.00	197.00	197.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
安定した調査員数を確保し育成していく	新任登録統計調査員	人	27.00	19.00	20.00	20.00	20.00
		人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	20	18	28			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	3	5	0			
	事業費計(A)	千円	23	23	28			
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)		06年度事業費 予算 (千円)	
	金額	比率	金額	比率
11 役務費	23		28	
	合計	23	合計	28

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	市の登録統計調査員への冊子 (統計だより) の郵送	市の登録統計調査員への冊子 (統計だより) の郵送	市の登録統計調査員への冊子 (統計だより) の郵送

事務事業名	統計調査員確保対策助成事業	事務事業No.	60301000302	所属課	企画課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
大規模統計調査の実施に際して、統計調査員の選任がだんだん困難となってきていることや、統計調査員の高齢化が進んでいることから、統計調査員の確保を図るとともに、国が実施する中央研修会へ調査員を派遣するなどの統計調査に関する実務知識の向上を図る目的で、事業が開始された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
この事業は、桜川市における登録統計調査員の確保と登録された調査員に対し、県発行の「いばらき統計だより」を配布することにより、統計調査に関する基礎的な知識を深めるとともに、統計調査の実施にあたり登録統計調査員の重要性を認識できるものとなるとの意見が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 統計受託事務であり、市の政策体系には結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 統計調査員の統計調査業務に対する知識の向上のため妥当である。	
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 統計調査員は確保されているので向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県統計協会からの、統計情報刊行物のため、配布の廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 茨城県統計調査条例に基づくものであるため他に手段はない。	
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 県委託金を使用しているの刊行物の郵送業務だけであるので、特に削減の余地はない。通常業務で行っているので削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		茨城県統計調査条例に基づく本業務は適切に行われている。																		
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>